

あなたと町を結ぶ情報紙

広報しんち

7

1999. No.337



遊海しんちの夏が来た。

さあ、一緒に考えましょう

●町民アンケート

町民のみなさんが、今、どのような価値観・視点を持っているのかを今年2月に調査したものです。これは、平成13年度から22年度を目標年次とする町の新しい総合計画をつくる上での基礎資料となるものです。

■調査方法：住民登録から無作為で抽出した1,000人（20歳以上の男女）町出身者等で町外に住んでいる50人を対象に、質問紙を郵送、回収。また、町職員全員を対象に実施。

■実施期間：平成11年2月5日～2月22日

■回収結果：609（回収率60.9%）、町外者等20（回収率40%）、町職員137（回収率100%）

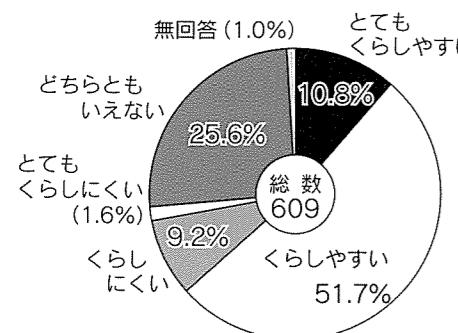
■調査項目：個人の生活意識、地域への愛着、高齢・少子化、まちづくり等

■その他：「みんなの声」27通

■あなたにとって新地町は
くらしやすいですか。



各論 住みやすさ



温暖な気候と自然が町の最大の魅力

活気がなく生活が不便なことが若者の大きな不満

あなたがもし、「あなたにとって、新地町は住みやすいですか」と聞かれたら、どう答えるでしょう。調査では、「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」と「とても暮らしにくい」を合わせると62・5%が暮らしやすいと感じています。一方、「暮らしにくい」と「とても暮らしにくい」を合わせると10・8%となっています。今後も「ずっと住み続ける」を合わせると84・7%の人人が満足しているようですが、若い人はどう定住意識は低くなっています。町のよいところは「気候が温暖で災害がない」「豊かな自然に恵まれている」といった自然環境が特に多く、職員や町外者も同様です。これに次いで「隣近所の人

企業誘致や福祉施設の整備、地域づくりを担う人材育成などで住みよいまちを

特集 町民アンケート調査による新地の将来像 夢の持てるまちを創ろう！

新地町ってどこ？と聞かれた時に宮城県と福島県の境だけではなく、「○○で有名な所です」と言つてみたい。—今年2月に行つた町民アンケート調査で寄せられた女性の方からのご意見でした。海と山があり温暖な気候に恵まれた町なのに、自分の住んでいる所を人前で堂々と語れないものかしさが伝わってきます。

しかし、このまちにも自分の生まれ育った地域を誇りに思い、自分たちの手で地域を良くしたいと熱意に燃える人たちが大勢います。心の角度を変えて、改めてまちの歴史や文化的伝統、産業、地理的条件などを眺めてみてください。よそに素晴らしい何かがあるはずです。

今回は、平成13年度から向こう10年間の新しい長期総合計画づくりにあたり、町民の意向を、職員、町外者と比較しながら、町民の価値観や意識を探つてみます。

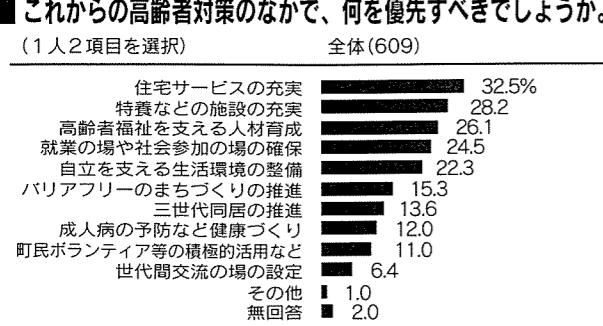
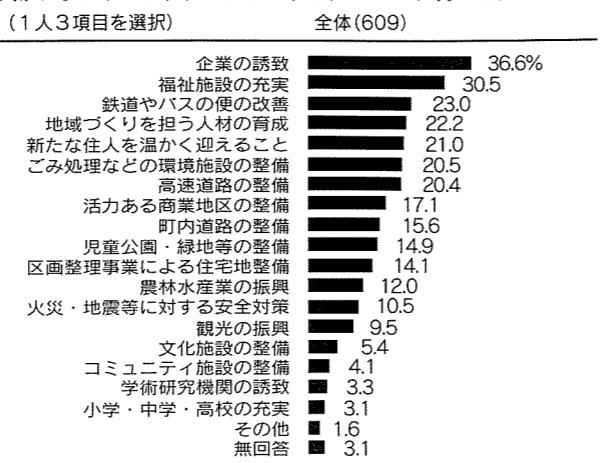
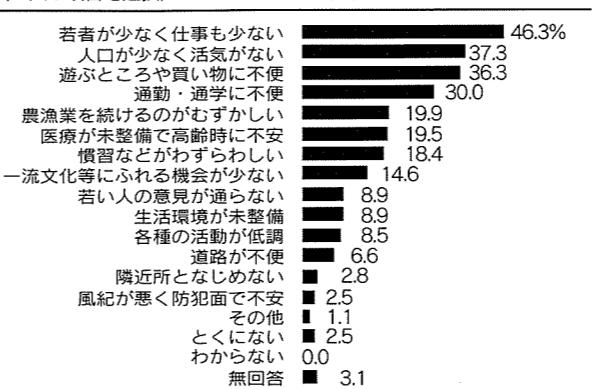
あなたがもし、「あなたにとって、新地町は住みやすいですか」と聞かれたら、どう答えるでしょう。調査では、「とても暮らしやすい」「暮らしやすい」と「とても暮らしにくい」を合わせると62・5%が暮らしやすいと感じています。一方、「暮らしにくい」と「とても暮らしにくい」を合わせると10・8%となっています。今後も「ずっと住み続ける」を合わせると84・7%の人人が満足しているようですが、若い人はどう定住意識は低くなっています。町のよいところは「気候が温暖で災害がない」「豊かな自然に恵まれている」といった自然環境が特に多く、職員や町外者も同様です。これに次いで「隣近所の人

情味あるつきあい」「なんとなく住みよい」「道路が整備されている」などとなっていますが、町外者からは「盆踊り・祭りなどの伝統文化」が多くあげられています。一方、町の住みにくいところは、「若者が少なく仕事も少ない」「人口が少なく活気がない」「遊ぶところや買い物に不便」「通勤・通学に不便」など、仕事や遊びどころが少なく、交通が不便で活気がないことが上位にあげられています。町民は特に「人口が少なく活気がない」、町外者は「通勤・通学に不便」を多くあげています。こういった状況の中、暮らしやすい町にするためには、「企業の誘致」「福祉施設の充実」「鉄道やバスの便の改善」「地域づくりを担う人材の育成」などが多くの町外者に比べ、「福祉施設の充実」が多くなっています。職員は「企業誘致」「活力ある商業地区の整備」「区画整理事業による住宅地整備」など産業や基盤の整備、町外者は「鉄道やバスの便の改善」「地域づくりを担う人材育成」を多くあげています。

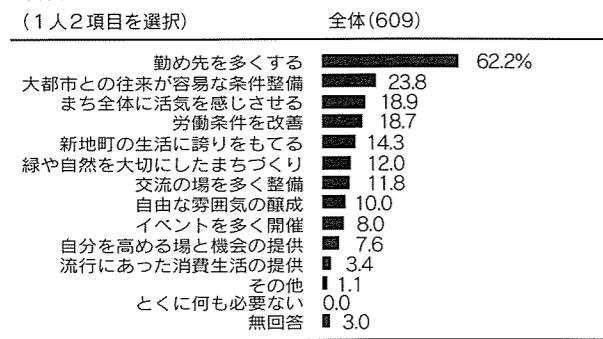
地 域 活 動

活動方法などの情報の提供や意見を反映させるなどにより、盛んな地域活動をさらに活発化させる

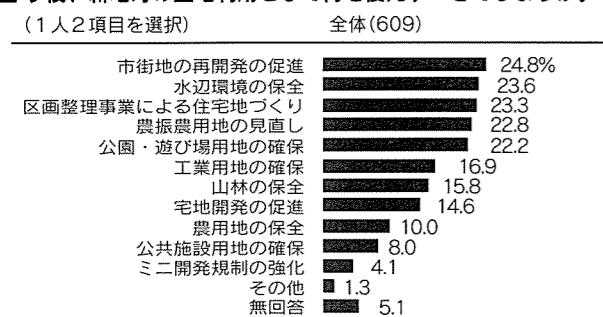
地域活動への参加状況は「よく参加」「たまに参加」「興味あるもののみ参加」を合わせると73・3%となり、今後参加してみたい活動は、「趣味などのグループ・サークル活動」「ボランティア活動」などが多くあげられました。



■ 若者の定着を図るために、どのような環境づくりを図るべきですか。



■ 今後、新地町の土地利用として何を優先すべきでしょうか。



高齢者対策は在宅サービス、子育て支援は負担軽減、若者定住のために職場を多く

一方、職員は「就業の場や社会参加の場を確保」「自立を支える生活環境の整備」といった高齢者自身が自立できるような支援策を多くあげています。

子育てを支援するためには、「保育費や教育費の負担軽減」「職

ビス、子育て支援は
ために職場を多く

高齢者対策は、「在宅サービスの充実」「特別養護老人ホームなどの施設の充実」「高齢者福祉を支える人材の育成」「就業の場や社会参加の場を確保」などが多く、職員に比べ「特別養護老人ホームなどの施設の充実」が多くなっています。

一方、職員は「就業の場や社会参加の場を確保」「自立を支える生活環境の整備」といった高齢者自身が自立できるような支援策を多くあげています。

子育てを支援するためには、「保育費や教育費の負担軽減」「職

「趣味などのグループ・サークル活動」「ボランティア活動」は若い人に多く見られます。こういった町民の活動を盛んにするためには、「活動の知識や方法等の情報提供」「意見を反映させる場を増やす」「機材の貸出等の経済的援助」「若者や女性の意見を聞く雰囲気づくり」などが多くの場を増やす」が多くなっています。

の再開発の促進」「水辺環境の保全」「区画整理事業による住宅地づくり」「農振農用地の見直し」「公園・遊び場用地の確保」などほとんど差がなくあげられ、多様なニーズとなっています。これに 対して職員は、「区画整理事業による住宅地づくり」を特に多くあげています。「農振農用地の見直し」は町民が職員を上回っていますが、「農用地の保全」についても町民が職員を上回っています。

土地利用

徳心を育てる」を多くあげています。生涯学習を支援するためには、「公民館などの充実・利用しやすさ」が最も多く、職員と比べても多くなっています。次いで「各種教室や講座の充実」「地域団体等の支援」などとなり、職員は「地域団体等の支援」「学習情報の提供や相談窓口の充実」を多くあげています。

学校と家庭の連携による
心の教育を
生涯学習を進めるために
公民館などを使いやすく
子供たちに対する教育環境につ
いては、「家庭等と連携して道徳
心を育てる」「多様な活動に対応
できる施設整備」「いじめなどの
教育相談体制の充実」などが多く、
町民は職員に比べ、「いじめなど
の教育目標(見守り)」、「職員

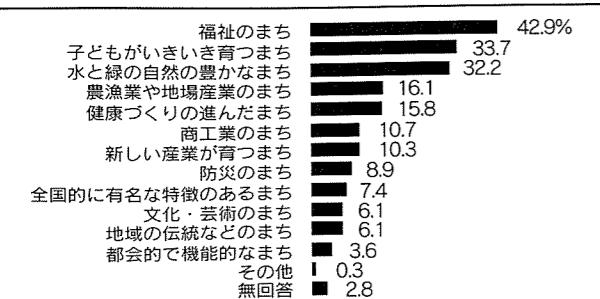
と機会の提供」を多くあけています

場復帰等が容易な制度の普及」「育児休暇等の取れる環境づくり」「保育サービス内容の充実」などが多く、現在子育てをしている年代と考えられる20～30歳代では「保育費や教育費の負担軽減」が特に多くなっています。職員は「放課後児童対策の充実」を多くあげています。

若者が定着できるようにするためには、「勤め先を多くする」が町民、職員、町外者一致して最も多くなっています。次いで「大都市との往来が容易な条件整備」「まち全体に活気を感じさせる」「労働条件を整備」などとなり、町外者は「緑や自然を大切にしたまちづくり」や「自分を高める場

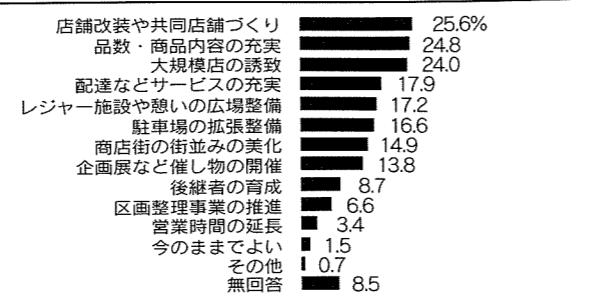
■ 新地町の将来イメージとして、あなたはどのタイプが望ましいですか。

(1人2項目を選択)



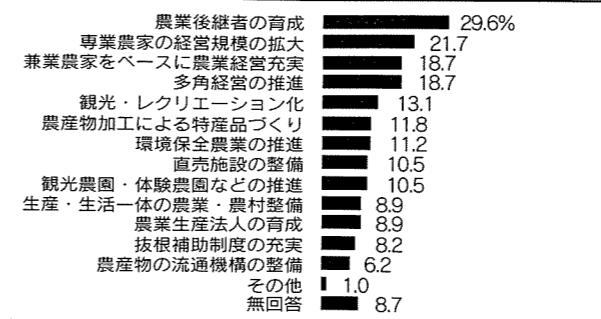
商業の振興を図るために必要なことがあります。

(1人2項目を選択)



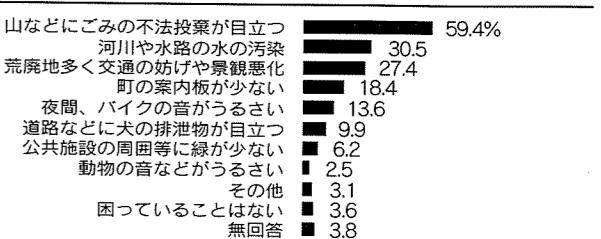
■ 農業の振興を図るにはどんなことが必要ですか。

(1人2項目を



■ 住まいの周辺環境について、改善してほしいと思っていることがありますか？

(1人2項目を選択)



提 言

古里の新地町に私が抱いている“原イメージ”は唱歌「春の小川」のようなサラサラと川が流れ、タンポポが咲き、メダカのすくう子供たちがいるといったものである。現在都市部に住んでいる者の勝手なイメージで実際に住んでいる人間にとっては、職場の確保からはじまって、優先すべき現実的問題が多くあると言われそうだ。

しかし、時代は確実に「春の小川」の価値観が高まる傾向にある。このところの干潟保護の動きにもそれは表れていると思う。経済的な現実と春の小川で小ブナを釣る理想郷が背反するものではないことを証明する可能性を新地町は持っていると思う。

町外者 40歳代男性より



行政運営

社会資本の中で住宅・宅地について、町外者から、電線の地中化や家屋などの景観の向上、町民や元町民優先の宅地供給、若い人が住宅を買いやすくなるよう借地権付分譲などが提案されています。

行政運営

町民への情報提供を進め、町民と行政の役割分担により、町民のニーズに合った効率のよい行政運営を

町民参加をより一層進めるためには、「町政情報をわかりやすく

產業振兴興

自然環境を保全し活用するためには、「環境の美化や水質浄化」「スポーツ等を楽しめる場の整備」「自然のあるがままの保全」「自然環境を生かした文化施設整備」などが多く、「自然の美化や水質浄化」や「森林の整備」については職員が多くあげていました。

ごみの不法投棄をなくし、環境美化や水質浄化を。また、自然を活用したスポーツ、文化活動を住まい周辺の環境については、「山などにごみの不法投棄が目立つ」がすべての属性から1位にあげられ、次いで「河川や水路の水の汚染」「荒廃地が多く交通の妨げや景観が悪い」などとなっています。

町民への情報提供を進め、町民と行政の役割分担により、町民のニーズに合った効率のよい行政運営を

提供」が町民、職員の一致した意見で、次いで「情報公開を積極的に進める」「職員の意識改革の推進」などとなっています。「町政情報をわかりやすく提供」は職員、「情報公開を積極的に進める」は町民が多くありました。

今後、広域行政を進める上で特に共同で取り組むべきことは、「福祉施設等のネットワーク化」「資源のリサイクル」、次いで「まちづくり等の人材育成など」「地震や津波などの防災対策」などとなっています。職員に比べて、多く、職員は「資源のリサイクル」を1位にあげるとともに、「地域情報化」も比較的多くありました。

豊かな自然の中で、子供からお年寄りまで
障害のある人もない人も住みよいまちを

環境保全農業振興は、「農業後継者の育成」「専業農家の経営規模の拡大」「兼業農家をベースに農業経営の充実」「多角経営の推進」などが多く、職員に比べ「農業後継者の育成」が多くなっています。職員は「専業農家の経営規模の拡大」「農産物加工による特産品づくり」「農業生産法人の育成」が多くありました。

漁業振興策は、「稚魚の育成放流など」「漁業後継者の確保・育成」「魚直売場施設の整備」などが多くありました。職員は、「稚魚の育成放流など」を半数があげています。

商業振興策は、「店舗改装や共同店舗づくり」「品数、商品内容の充実」「大規模店の誘致」がほとんど差がなく多く、職員では「大規模店の誘致」が少なくなり、「店舗改装や共同店舗づくり」「品数、商品内容の充実」とともに、「商店街の街並みの美化」も多くなっています。

工業振興策は、「常磐自動車道の全線開通の促進」「相馬中核工業団地の整備等」が多く、次いで、「相馬港のレジャー機能等の充実」が多くあげています。

自然環境を保全し活用するためには、「環境の美化や水質浄化」「スポーツ等を楽しめる場の整備」「自然のあるがままの保全」「自然環境を生かした文化施設整備」などが多く、「自然の美化や水質浄化」や「森林の整備」については職員が多くあげていました。

住まい周辺の環境については、「山などにごみの不法投棄が目立つ」がすべての属性から1位にあげられ、次いで「河川や水路の水の汚染」「荒廃地が多く交通の妨げや景観が悪い」などとなっています。

ごみの不法投棄をなくし、環境美化や水質浄化を。また、自然を活用したスポーツ、文化活動をたす。

A black and white photograph of three young children, two girls and one boy, sitting on a bench outdoors. They are all wearing matching white baseball caps and white athletic uniforms with dark stripes on the sleeves. The girl on the left is laughing heartily, her head tilted back. The girl in the middle is also laughing, her mouth wide open. The boy on the right is smiling more reservedly, looking towards the camera. They are all wearing dark socks and light-colored shoes. The background is slightly blurred, showing what might be a chain-link fence or a building.

町外者のみに聞きました

町外者のみに聞きました



将来のまちづくり

将来の町のイメージは、「高齢者や障害者が住みよい福祉のまち」「子供がいきいき育つまち」が多くのあげています。これに対し、職員、町外者の1位は「水と緑の自然豊かなまち」となっています。この他、町外者は「農漁業や地場産業などの活気ある町」も多くあげています。

これから特に力を入れてほしい社会資本整備は、「保健・福祉施設」「下水道」「道路」などが多く、職員は「下水道」が1位、また、「住宅・宅地」を多くあげ、町外者は「保健・福祉施設」が半数、また「公共交通」も多くあげられ

意見あり！

この意識調査では、回答者数の30%の方から意見が寄せられました。紙面の都合で、ほんの一部ですが、ご紹介します。

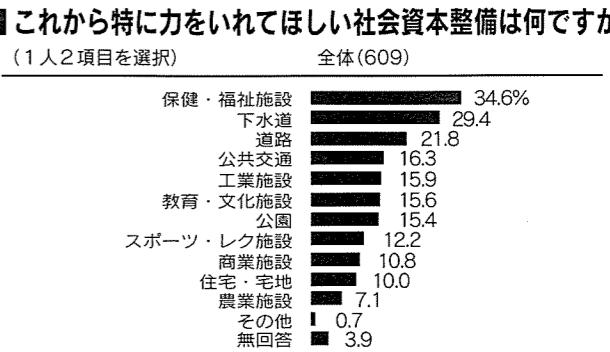
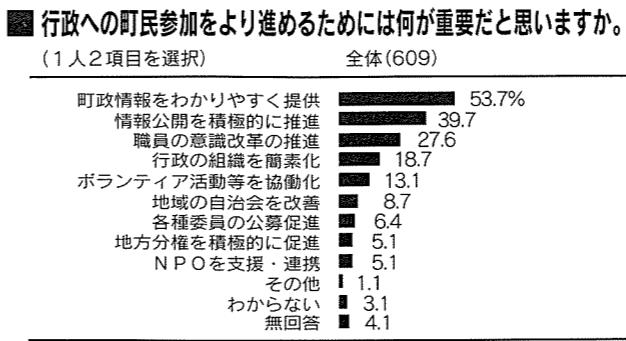
- 通学に不便な所は町でマイクロバス等を出してほしい。駒ヶ嶺地区では遠い所は自転車通学になつてますが、新地地区でも考えていただけないでしょうか。
 - 役所の、民間からの発想・アイデアを集約する能力不足が目立ちます。今、何が求められ、これから何が必要なのか、不安なのか、役所と大衆に大きなズレがありますよ。
 - 駒ヶ嶺小学校の跡地利用について、運動公園も出来た時に他県からの利用に対し宿泊施設とサッカーのグラウンドを作つたらと思います。サッカーは新地町からよりよいチームが生まれるようになります。
 - 6号線沿いが寂しい。子供だけでなく中高年が一日ゆっくり過ごせる施設があるとよいと思う。
 - 町内には三貫地貝塚、新地貝塚と他町にはない誇り得る古代遺跡があります。出土品を展示する古代館を建設する。貝塚地を町で買い上げ、堅穴住居を作り、古代人の生活の姿を絵や人形などで表現する。
 - 海と山にキャンプ場を整備したらいいと思います。
 - 町づくりは人づくりである。町民の翼は10年一区切りで止めないで、今後とも継続を望みます。成果はすぐ出なくとも、個人が頭で考えている新しいことが、ある日突然、行動として現われて来るなんて期待も持てます。
 - 乱開発やミニ開発などをせずに、新地町は自然環境保全を優先し、緑多く動植物が住みつく自然豊かなイメージの町づくりをしていただきたい。
 - 保育所のお迎えの時間延長を。午後3時のお迎えでは働く人にとっては全く保育の確保にならない。少子化なのでよく考えてください。
 - 子供たちが安全に遊べる場所（公園など）を確保してほしい。なぜなら、どこに行つてもゲートボール場はありのに、子供たちの遊ぶ場がないから。
 - 職場を退職してから仕事をしたくても働くところがありません。明るく健康でいるうち勤めたいのですが、60歳になると職場がありません。何時間でも働ける職場をつくって下さい。
 - 町政についていろいろ書いてあるが、町政そのものがよくわからない。まず大切なことは若者たちが興味を持てるような町政を行うという事ではないでしょうか。
 - ユニークな職員がいれば町も変わるとよく言われるが、職員採用の時にすばらしい人材を見つけてください。

人ひとりの町民がいきいきと暮らせる住みよいまち」といえそうですが、特に、保健・福祉施設、下水道、道路などの社会資本整備、若者の雇用機会の創出や、特産品、釣師浜海水浴場、鹿狼山などを生

かした新地町らしい特色あるまちづくりが求められています。

今、町では平成13年度を初年度とする向こう10年間の新しい長期総合計画の策定に取り組んでいます。地方分権が叫ばれる今日、町

民の意見が生かされる体制づくりやきめ細かい行政サービスなど、柔軟な取り組みが町の課題と考えていますので、今後とも皆さん方からのご意見をお待ちしています。



魅力ある地域社会の創造 ソフト指向、価値観、21世紀へ

總括

21世紀を目前に人々の価値観は、大きく変化しつつあります。魅力ある町づくりを考え、かつ推進するためには大切なことは、町民の皆さんが高い実に求め、何に生きる幸せや喜び、楽しさ、充実感を見いだしているのかを、まず明らかにしなければなりません。

「気候が温暖で災害が少ない」や「豊かな自然に恵まれている」という自然的要素が断トツであり、上位にあげられた項目のなかで町の政策といえるのは「道路が整備されている」や「公害のない健全な環境」です。「道路が整備されている」は、地区では駒ヶ嶺地区、職業では商工サービス業、パート・アルバイトで比較的多く、「公害のない健全な環境」は年齢30歳代、居住歴では10年未満、10～19年で比較的多いものとなっています。こうした回答結果をみると、道路は公共投資に即す回答となっている一方、健全な環境は、他地域との相対的な比較で新地町を見ることができる人に評価されているということがいえます。

その関連でいえば、町の住みにくいところは、「若者が少なく仕事が少ない」や「人口が少なく活気がない」といった活気のなさが1位、2位を占めていますが、買いた物や通勤・通学の利便性の低さについては、居住歴が短く、他の

因となっています。こうした点は、暮らしにくいと回答した人の上位に「商業地区の整備」や「新たに住む人を温かく迎える」をあげていることと符合します。

「農漁業を続けるのが難しい」は暮らしやすいと回答した人ほど住みにくさの要因としてあげており、都市化に伴う環境変化への戸惑いがみられるようです。

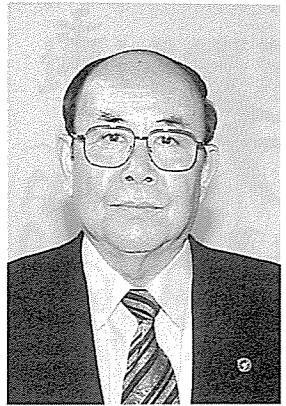
将来のイメージは、「福祉の町」「子供がいきいき育つまち」「水と緑の自然豊かなまち」の順ですが、高齢者や農林漁業、商工サービス業、Uターンといった人たちは「水と緑の自然豊かなまち」をそれあげています。「子供がいきいき育つまち」は同じ若年層に多く、「水と緑の自然豊かなまち」は40歳代も1位にあげ広範な支持を得ています。

それらを踏まえ今後のまちづくりの方向としては、△豊かな自然の中で、子供からお年寄りまで、障害のある・なしの区別なく、一

地域へ通勤・通学する人に多い結果となっています。

就任あいさつ

収入役 佐藤 喜昭



収入役就任にあたりまして一言
ございさつ申し上げます。このた
び荒町長のご推薦をうけ、去る6
月町議会定例会におきまして議会
の皆様のご同意をいただき7月1
日付で就任いたしました。誠に浅
学非才でありまして身に余る光榮
に存じます一方、責任の重大さに
身のひきしまる思いがいたしま
す。しかしこのうえは、与えられ
た職務を「情熱と誠実」をモット
ーに誠心誠意全うする所存でござ
います。

私は職員として32年間勤務いた
しましたが、その間の主な業務を
思い起こしますと、総務課におい
ては苦難な時代の財政改善計画の



住 所	新地町駒ヶ嶺字町19番地
生年月日	昭和19年5月22日
〔略歴〕	
昭和38年3月	福島県立相馬高等学校卒業
昭和38年3月～	警視庁勤務
昭和42年5月～	新地村役場勤務
平成4年4月～	新地町企画振興課長
平成11年4月～	新地町総務課長

策定、住民課においては社会福祉
協議会の法人化設立、そして企画
振興課においては第3次総合計画
の策定と相馬地域総合開発プロジ
エクトの推進に取り組みました。
今思うと当時の町民の皆さん御
理解と御協力をいただきまして今
日の積み上げができたものと改めて
感謝を申し上げる次第であります。

今、町を取り巻く社会情勢は少
子・高齢化社会への対応や生活環
境問題そして情報化的対応等複雑
多岐にわたっておりますが、町の

財務会計を預かる出納責任者とし
て今までの経験を生かして、町
民の皆様により安心していただけ
ますよう全力を尽くす覚悟でござ
います。どうぞよろしく御指導御
鞭撻を賜りますようお願い申し上
げ、就任のごあいさつといたします。

退任あいさつ

前収入役 三國 孝之

また、4期16年にわたり町収入役として町政発展にご尽力された前収入役三國孝之氏は、6月30日をもって任期満了により退任されました。

退任あいさつ

前収入役 三國 孝之

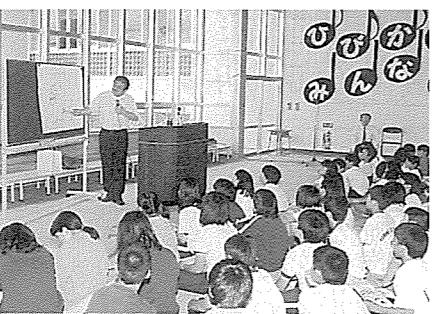
昭和26年3月旧駒ヶ嶺村職員として奉職以来48年3カ月の長い間勤務できました。過ぎし日々を思うとき、「村から町へ」と町発展の歴史等が脳裏をかけめぐります。住民課長時代には、中学校統合により不用となつた旧校舎や古材を利用して「3つの保育所の開設」「母子健康センターの建設」総務課長時代には、財政確立目標としながらも、48年のオイルショックの影響で財政が四苦八苦の毎日で、準再建町村として県の指導を受けたときもありました。相馬地域開発計画を国県市町が全力を傾注してもなかなか進展しないころです。収入役4期16年、私が収入役になつた昭和58年度には、一般会計の決算額18億円。厳しい財政状況が続きました。それが平成7年就任の4期目に相馬共同火力発電株新地発電所

生れます。町政のますますの伸展と皆様のご健康新地町には「夢と希望」があります。皆様の英知を結集してこそ理想郷が生まれます。町政のますますの伸展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に今後とも変わらぬご交説を賜りますようお願いし、在職中の思いでの一端を申し上げ退任のごあいさつといたします。

収入役に佐藤喜昭氏を選任

6月定例議会で、新収入役に佐藤喜昭氏が選任されました。任期は、平成11年7月1日から平成15年6月30日までの4年間です。

町人



▲6月5日には町内全小中学校で「食生活と歯の健康」についての指導が行われた

町では、7月1日付けで総務課長が収入役に就任したため、助役が総務課長を兼務することになりました。
●退職(6月30日付)

●兼務 総務課長
佐藤喜昭
助役 早川孝昭

子どもたちの健康を 食生活から 考える①

大人がかかりやすい高血圧、動脈硬化、糖尿病、心臓病などの成人病に最近では子どももかかりやすくなつたとして「生活習慣病」と呼ばれるようになりました。これを予防するようになります。そのため相馬地方では、子どもたちの検診を行っています。町内の小・中学校は、他地区に比べ良い結果がでていますが、小学4年生で14人(15パーセント)、中学1年生で29人(24パーセント)が健康に問題があり、健康な子が6割ほどしかいません。「中性脂肪」が高い傾向にある

今地方自治が非常に難しい時代であります。本町の理念である「調和のとれた活力あふれる住みよい町」の実現のため道路や教育施設等環境整備が着実に進んでいます。これからはソフト面の施策が重要でありますので第4次基本構想の策定にあたつては町民の皆様の参画による手作りの計画を樹立することが肝要であります。そこで実現のため町民が一丸となる必要があります。

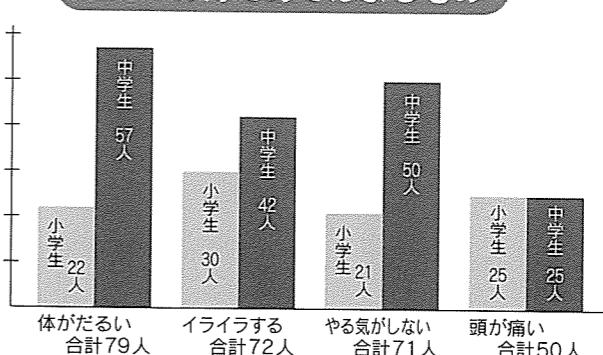
その後また夜食をとるのはどうかなと考えます。お母さんは食事の栄養バランスを考え料理を作つていてそれがアンケートからよくわかりました。こういう積み重ねが検診の好結果につながつたと思います。しかし、前にも述べましたように生活習慣病の予備軍がいて、少なからず子どもたちは体の不調を訴えています。子どもたちの健康を守るために、望ましい食習慣はどうあるべきなのか、考えていかなければなりません。文・駒ヶ嶺小学校教頭 青田富男

保護者への食生活アンケート

単位: %

	料理で気をつけていること	濃い味は好きか	油をつかった料理は	調理済やインスタント食品使用
1位	多くの食品 89	薄味好き 33	1日1食 53	週に1~3回 37
2位	安全な食品 86	少し濃い 30	時々食べる 38	月に2~3日 34
3位	Ca、鉄分、食物繊維等 83	ふつう 28	1日1食以上 8	ごくまれに 24
4位	家計に見合う 81	濃味好き 8	ほとんどなし 1	全く食べない 3

ここ1ヵ月であてはまるもの



生活習慣病予防検診結果

	小学4年生(94人中)	中学1年生(123人中)
正 常	58人	77人
管理不要	22人	17人
食生活改善	7人	13人
経過観察	14人	29人
医学的管理	6人	15人

地域経済の活性化に「特別振興券」

65歳以上の対象者1,400人に交付

**地域振興券利用期間は8月31日まで
お早めにご利用を**

3月に町民2、4440人を対象に、約4、880万円分の交付を行った地域振興券については、6月1日現在で約75パーセントの3、650万円分が利用されました。

地域振興券の利用期間は8月31日までです。期間終了後は利用できませんので、お早めにご利用ください。



町では、地域経済の活性化を図り「特別振興券」を交付しました。65歳以上で地域振興券の交付を受けていない方が対象で、一人当たり1万円分を交付。支給対象者は約1,400人、総額約1,400万円を交付し、3月に交付した地域振興券4,880万円と合わせて、合計6,200万円となり一層の経済効果が期待されています。

ご利用を
されました。



事業費	地区面積	209ヘクタール
整地工	166ヘクタール	
用水路工	29キロメートル	
排水路工	26キロメートル	
道路工	25キロメートル	
事業費	28億4080万円	
国県補助金	21億7889	
町補助金	3億742万円	
受益者負担金	3億5448	
万円	万円	万円

県営ほ場整備福田地区 完成を祝い記念碑除幕

総面積209ヘクタールで、10年の歳月をかけて進めてきた福田地区県営ほ場整備が完成し、6月3日に記念碑の除幕式が福田字清水地内で行われ、長年にわたる事業の完成を祝いました。

同地区は、町北側の水田地帯として古くから稻作が営まれていましたが、農道や用水路も狭く、区画も狭小で、農業の近代化を阻害していました。今回のほ場整備事業により、耕地の区画をはじめ、農道や河川、用排水路、ため池などの整備が完成。大型機械化などによる、農業の

合理化、生産性の向上が図られるようになりました。

記念碑除幕式には、関係者約60人が出席。神事では、荒町長直筆の「耕心無限」の文字が刻まれた記念碑を、町土地改良区理事長（荒町長）、荒正敏換地委員長、高橋豊吉県農林水産部次長が除幕し、整備の完成を祝いました。除幕式に続き竣工式が勤労青少年ホームで行われ、換地委員に県知事感謝状が、施行業者に理事長感謝状がそれぞれ贈られました。事業の概要是次のとおりです。

A black and white photograph capturing a moment inside a vehicle. A young child, dressed in a light-colored striped shirt, is seated in a car seat with a prominent checkered pattern. The child is looking directly at the camera with a neutral expression. To the left, a woman with long dark hair, wearing a light-colored top, is leaning over the child, her face partially visible as she looks down. The interior of the vehicle, including a window and some structural elements, is visible in the background. The lighting suggests a bright day outside.

自動車に子供を同乗させるとき、あなたはどうしていますか。お母さんのひざの上に座らせる。大人用のシートベルトを着用させる。よく見かける光景ですが、どちらも大きな危険がひそんでいます。乳幼児の安全を守るために、子ども用のシートベルトとなるチャイルドシートの設置が必要です。

町では、平成12年度からの着用の義務化に先立ち「チャイルドシート等購入設置奨励金交付事業」に取り組んでいます。チャイルドシート購入者に価格の半額（1万円を上限）を補助するもので、東北初の試みとあって、効果が期待されています。

さかの事故から乳幼児を守ります

来年度から着用が義務化

来年度から着用が義務化

チャイルドシートは、交通事故から乳幼児を守るために車内に取り付ける専用のシートで、警視庁などの調査でも着用による交通事故の致死率は、着用していないなかった場合に比べて約9分の1になるなど、高い安全性が認められています。しかし、「めんどくさい」「子どもがいやがる」「経済的負担」「安全性を認識していない」などの理由から、着用率は全国でも約8パーセント（社）日本自動車連盟の調査）しかありません。そこで来年4月からは、道路交通法の改正により、6歳未満の幼児にはチャイルドシートの着用が義務化されます。

1万円を上限に半額を助成

町では義務化に先立ち、チャイルドシート、ベビーシート、ジュニアシート等の購入者に奨励

1万円を上限に
半額を助成

1万円を上限に半額を助成

励金を交付することで、町民の購入、設置を推進し、交通事故から乳幼児を守ると、次のとおり奨励金交付事業に取り組んでいます。この事業は全国でもあまり例がなく、購入者の負担が軽くなり普及につながるのではと、期待を集めています。

実施期間

平成11年7月1日から平成13年3月31日。

交付額

1万円を上限として、購入価

対象者 格の2分の1を助成します。

6歳未満の幼児を養育し、期間中にチャイルドシート等を購入された方

申し込み方法

奨励金の交付を受ける方は、購入後、奨励金交付申請書に領収書を添えて、役場総務課まで申請してください。奨励金を、申請者の口座に振り込みます。

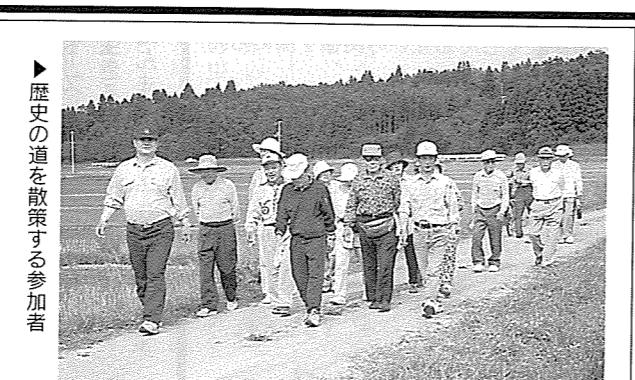
●問い合わせ 役場総務課（☎②2111）

The Photo Scramble



収穫が楽しみ

福田地区の環境整備に取り組む「根っ子の会」(半沢敏郎会長)ではこのほど、沢口地区の遊休農地を利用して、福田小全児童126人によるサツマイモの苗植え体験学習を行いました。根っ子の会との苗植えは毎年行っているもので、今年で3回目。子どもたちは会員の指導を受けながら、用意した苗を一本ずつ丁寧に植え、800本の苗を植え込みました。秋には収穫も行い、芋煮会なども予定しています。



歴史の道を訪ねて

町教育委員会と町郷土史研究会の共催による「歴史の道を歩く会」—浜街道と新地城を歩く会—がこのほど行われ、町民約20人が参加しました。龍昌寺や新地城跡、根小屋地区、山崎地区にある石仏群や碑などを、日黒美津英教育長の案内を受けながら浜街道に沿って散策し、道や史跡などにまつわる歴史について理解を深めました。

掛け時計にツバメ

春から夏にかけて町内には多くのツバメが飛び交い、家の軒などに巣を作っていますが、加藤賢治さん(岡)宅に訪れるツバメは、毎年一風変わった場所に巣を作り話題になっています。その場所とは玄関の「掛け時計の上々」。3年前に巣を作ったのをきっかけに毎年訪れ、今年も元気に家中を飛び回っています。加藤さんは「雨などの心配もなく、住みやすいのでしょうね。毎年訪れる縁起物として、家族で大切にしています」と話していました。



指先でお話し

町社会福祉協議会と相馬市聴覚障害者会の共催による「手話教室」がこのほど行われ、町内から約60人が受講しました。教室には、小学生から高齢者まで幅広い年齢層の方が参加。相馬市聴覚障害者会の佐藤透さん(作田)を講師に、8回にわたって講義を行い、手話の基本や指文字について学びました。参加者たちはお互いに、手話による自己紹介やあいさつなどを言い、表現を身につけていました。

フォト・ランブル



町の話

▶女性問題について講演する千葉先生



第15回町消防団消防操法競技大会が6月27日、JAライスセンター前で行われ、団員約100人が参加し、日ごろの訓練の成果を競いました。結果は次のとおりです。優勝チームは、8月1日に開催される相双地方大会に町の代表として出場します。

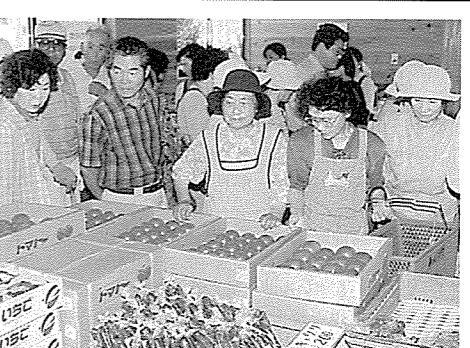
▼自動車ポンプの部第1位
第3分団第8部(福田／横山智・草刈文大・渡部義紀・佐藤清人・横山敏哉・鈴木秀繼)
▼小型ポンプの部第1位
第1分団第1部(高田／石田信昭・石田雅英・伊藤一晃・石田勝利・石田明)



▶訓練の成果を披露する団員のみなさん

地域社会の基盤である「地域づくり」「環境問題」「教育」をキーワードに、社会が直面している課題や新たな可能性について考える「福島大学公開講座」が6月12日に開講しました。第2回目は18日、農村環境改善センターで開かれ、福島大学行政社会学部教授の千葉悦子教授による「地域を変える女たちの時代」による講演を行い多くの受講者が集まりました。

今日から大学生



▶すらりと並んだ地場産品

地域社会の基盤である「地域づくり」「環境問題」「教育」をキーワードに、社会が直面している課題や新たな可能性について考える「福島大学公開講座」が6月12日に開講しました。第2回目は18日、農村環境改善センターで開かれ、福島大学行政社会学部教授の千葉悦子教授による「地域を変える女たちの時代」による講演を行い多くの受講者が集まりました。

地場産品を直売

「駒ヶ嶺公民館ふれあいのつどい」が6月19日から20日にかけて同公民館で行われ、子どもからお年寄りまで多くの方が訪れました。各種教室の作品展示のほか、大ホールでは老人と婦人の交流会も行われました。また、7月4日には勤労青少年ホームで「福田ふれあいのつどい」も行われ、多くの町民で賑わいました。

また、教室によるリサイクルチャリティーバザーも行われ、収益金8万3千440円が町に寄付されました。



▶駒ヶ嶺公民館「駒南老人クラブによる港町十三番地」

町の地場産品を提供する「しんち地場産品市場」(石田功一代表)が12日、国道6号線沿いの小川地内にオープンしました。同市場は、石田代表ら5人が立ち上げ、町内の登録農家56人が採れたての新鮮な野菜などを持ちより直売しています。店内には野菜のほか、いちらうエキスやクッキーなどの町特産品や工芸品などが所狭しと並べられ、多くの町民が訪れ賑わいました。

GALLERY

さわやかさん



早坂輝美さん
(S 50. 6. 9生まれ・大戸浜)

○お勤めはどちらですか？

☆大日本土木(株)相馬営業所です。パソコンを使ってのデータ管理や書類の整理など事務の仕事を担当しています。

○趣味は何ですか？

☆旅行に出掛けるのが好きですね。先月は名古屋へ出掛けたのですが、今度の夏休みには、京都や神戸方面へ出掛けてみようと思っています。

○これからやってみたいことは？

☆インターネットを始めてみたいですね。友達との電子メールの交換やホームページでの情報収集など、とても興味があります。

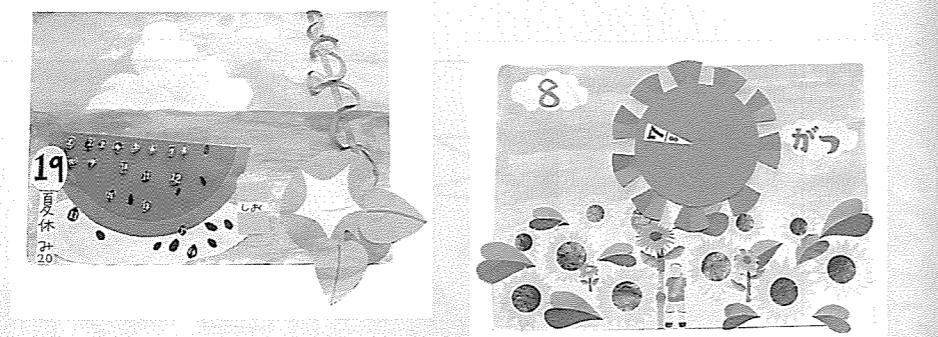
○休日はどのように過ごしていますか？
☆仙台へ、買い物に出掛けることが多いですね。それと映画も好きで、映画館などにもよく出掛けています。

○理想の男性のタイプは？

☆やさしくて、頼りがいのある人がいいですね。芸能人でいうと、竹野内豊さんが理想です。

○あなたが町長になつたら何をしたいですか？

☆子どもが遊べるような、ちょっとした公園がもう少しあるといいですね。それと、映画館や劇場のような文化施設も欲しいですね。



尚英中1年生の美術の授業で作成した作品です。

みんなの広場

みんなが主役です

このページは、町民の皆さんに登場していただいています。どのコーナーも登場してくれる方大募集！ご連絡をいただければ、取材に伺います。投稿もOKです。あなたの情報、お待ちしています。



駒ヶ嶺3Bクラブ

グループ紹介!!



駒ヶ嶺公民館の3B体操教室に集まっていたメンバーが、活動の機会をもつと増やそうと平成9年に結成した「駒ヶ嶺3Bクラブ」。メンバーは16人。練習は毎月第1、第3水曜日の午後で、ボル・ベル（めがね状の空気袋）、ベルタ（やわらかい紐）などの手具を使いながら、音楽に合わせて体を動かします。全身を使った体操は、肩凝りやストレスの解消、美容に効果があるとあって、皆さんはいきいきとした表情をしています。

会員の桑折とも子さん（駒ヶ嶺町）は、「無理なく全身を動かし、楽しみながら運動不足を解消しています。始めて3年目ですが、以前から困っていた膝や首の痛みが解消され大変助かっています。メンバーで集まつて反省会なども行っているので、仲間づくりもできています。

とても楽しいですよ」と話します。代表の遠藤道子さん（新町）は、「先月は『老人と婦人の交流会』に参加して練習の成果を披露しました。発表会などに参加すれば目標を持つて過ごせますし、良い刺激になりますよ。10月には山形県で行われる3B体操東北大会があるので、新しい曲に取り組んでいます。興味のある方は、駒ヶ嶺公民館（☎ ⑥3477）までご連絡を」と、メンバーを募っていました。

広報にあなたの写真があつたらさしあげます。
企画振興課
(内線 63)



毎の文選

◆新地短歌

余後の身に少し早起き更衣
草むらのその紅きこと蛇毒
夏漁の無線の音の高くあり
飛行機の影もどんぐ五月晴

濃く淡く峯重なりて夏立ちぬ
時鳥三声は遠き彼方かな
林よし子

つばめ来て明るい顔の母を見る
紅も指しすつきりとして更衣
志茂尚子

小泉淑
斎藤とも子

高橋トク
佐藤芳子

水戸千佳子
小泉淑

志茂尚子

渡辺たかを

小野とめよ
佐藤都

菅野二郎
斎藤清子

梅雨入りや佐渡に誕生トキの声
せせらぎを聞きて鹿狼の大新樹
桐の花すきな煙草も酒も断つ
柿若葉古き家よりモーツアルト

つやかな初なり胡瓜佛前に
残りたる畝目まといにはばまれし

団地の灯映す田の面にかわず鳴く
花桐の陰にうつりて話聞く

小野とめよ
佐藤都

佐藤芳子

高橋トク
水戸千佳子

志茂尚子

渡辺たかを

小野とめよ
佐藤都

菅野二郎
斎藤清子

梅雨入りや佐渡に誕生トキの声
せせらぎを聞きて鹿狼の大新樹
桐の花すきな煙草も酒も断つ
柿若葉古き家よりモーツアルト

つやかな初なり胡瓜佛前に
残りたる畝目まといにはばまれし

団地の灯映す田の面にかわず鳴く
花桐の陰にうつりて話聞く

小野とめよ
佐藤都

佐藤芳子

高橋トク
水戸千佳子

志茂尚子

渡辺たかを

●お母さんから一言

長谷川奈緒ちゃん
(1歳3ヶ月・中島)
外で遊ぶのが好きで
水遊びが好きで
水たまりなどを見
つけると泥んこに
なりながら元気に
遊んでいます。



テロ の根絶にご協力を!

- 極左一一〇番 ☎ 0244-366-3191
- 相馬警察署 ☎ 0244-533-9110

など、「何か変だな」と気づいたら、すぐに最寄りの警察署・駐在所にご連絡をお願いします。あなたの通報がテロ・ゲリラを防ぎます。

○ 屋間でもカー・テンをして、部屋の中を見えなくしている。
 ○ 部屋への出入りの際、異常に周囲を警戒している。
 ○ 居住者以外に複数の方が出入りしている。
 ○ 借家等の水漏れなどで家主が訪問しても、部屋の中に入れない。

あなたの回りにいませんか?

最近のテロ・ゲリラ事件は武器の威力や性能が飛躍的に高まり、ますます凶悪化しています。過激派によるテロ・ゲリラの根絶のために、皆さんのご協力をお願いします。

過激派はこれまで、爆弾や時限式発火装置、火炎瓶等を使用してのテロ・ゲリラ、警察無線の傍受・盗用による各種調査活動、巧妙な電話盗聴などの事件を引き起こしています。

過激派はこれまで、爆弾や



人の動き

- 人口／9,060人（-18人）
男／4,418人（-9人）
女／4,642人（-9人）
- 世帯数／2,406世帯（-1世帯）
6月1日現在（）は前月比

今月の納税

- 固定資産税
- 国民健康保険税
- 国民年金

第2期分
第1期分
7月分

今月の散歩道はお休みさせていただきました。
(佐)

★ 先月、チャイルドシートの写真を撮りに保育所へ出掛けました。子どもを迎えてきたお母さんたちに取材を試みるも、なかなか設置している事がみづからず、普及率はかなり低いのだと感じました。着用による安全性はこれまでのテストでも実証済み。子どもを事故から守るためにも、ぜひ設置をお願いします。

こちら編集室

